

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の JMTR 原子炉施設に係る廃止措置計画の認可申請に関する事業者ヒアリング（15）
2. 日時：令和2年9月16日（水）13時30分～13時55分
3. 場所：
 - （1）原子力規制庁10階南会議室
 - （2）日本原子力研究開発機構大洗研究所※本ヒアリングは、テレビ会議にて実施
4. 出席者：
 - （1）原子力規制庁
原子力規制部 研究炉等審査部門
細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員
 - （2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
材料試験炉部 廃止措置準備室 担当者 他2名
5. 議事要旨
 - （1）原子力機構から、第20回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合（令和2年8月24日）で指摘のあったUCL系統の更新工事工程について、資料1に基づき説明があり、原子力規制庁から、以下のとおりコメントを伝えた。
 - UCL系統の更新工事工程について、既存の冷却塔から速やかに小型の冷却塔に切り替えて安全性を確保する観点から、変更手続きを含めて約2年間とした更新期間の前倒しを検討すること。
 - 前回のヒアリングで説明のあった、可搬型発電機による自動火災報知設備への給電について、可搬型発電機の配備時間と自動火災報知設備の蓄電池の枯渇時間の関係性を踏まえ、運用による火災検知の対応を検討すること。
 - （2）原子力機構から、了解した旨回答があった。
6. 配付資料
 - ・原子力機構からの配付資料
 - 資料1 UCL冷却塔の小型冷却塔への更新期間について